

# 平成28年度予算概要

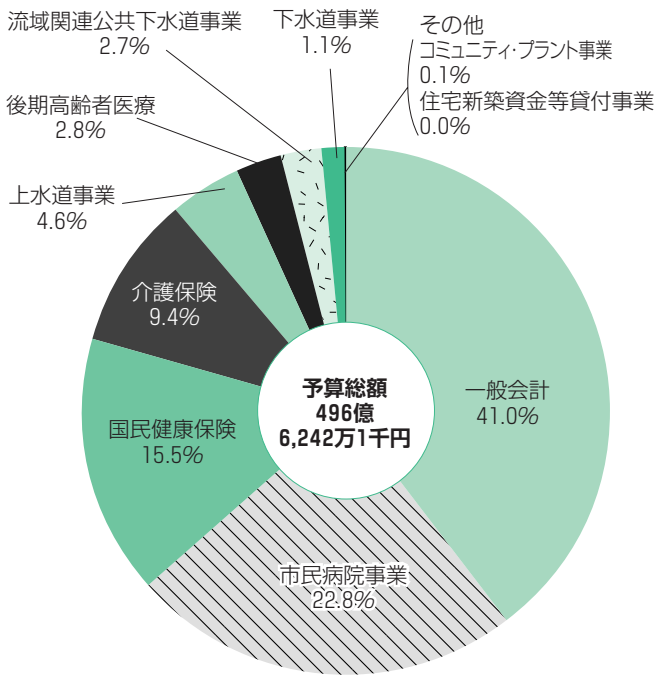
予算の総額

496億6242万1千円

(前年度比2.6%、12億6104万5千円の増額)

平成28年度の予算編成に当たっては、『つしま成長戦略』の5つの項目である「子ども子育て応援都市、つしま」、「防災・減災のモデル都市、つしま」、「地域の特性を活かした交流都市、つしま」、「地域経済が活性化する発展都市、つしま」、「いつまでも健康で暮らす都市、つしま」の実現を市政の重点目標と位置づけ、本市を取り巻く現下の厳しい財政状況を勘案しつつ、真に必要な分野に、重点的かつ効果的に予算を配分しました。

## 会計別予算額構成



会計名	当初予算額(千円)	前年度比(%)
一般会計	20,340,000	106.2
市民病院事業会計	11,339,118	97.9
国民健康保険特別会計	7,684,370	99.9
介護保険特別会計	4,661,000	102.4
上水道事業会計	2,298,696	108.2
後期高齢者医療特別会計	1,361,352	101.6
流域関連公共下水道事業特別会計	1,351,013	111.1
下水道事業会計	560,715	83.7
コミュニティ・プラント事業特別会計	60,947	92.1
住宅新築資金等貸付事業特別会計	5,210	100.2
計	49,662,421	102.6

### 一般会計

203億4000万円

(前年度比6.2%、11億8000万円の増額)

#### ●一般会計の歳入

市税は、企業収益や個人消費などの弱さが懸念されるものの、景気の緩やかな回復基調により、約1億1700万円(1.4%)の増となっています。

地方交付税は、地方交付税総額の減および国勢調査の人口の減少などから、1億円(3.9%)の減となっています。

国・県支出金は、社会資本整備総合交付金、障がい者自立支援給付等国庫負担金の増などにより、約2億6300万円(6.8%)の増となっています。

#### ●一般会計の歳出

人件費は、退職手当の増により、約2億3600万円(6.7%)の増となっています。

扶助費は、自立支援給付費や障がい児通所給付費の増などにより、約1億7300万円(3.7%)の増となっています。

公債費は、市債の元金償還金の増により、約1億2600万円(8.2%)の増となっています。

投資的経費は、庁舎防災機能等整備工事の実施などにより、約3億3400万円(28.8%)の増となっています。

その他の主なものとして、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計への繰出金の増などにより、他会計への繰出金などが約3億9400万円(17.7%)の増となっています。

また主な事業として、

#### 夏休み開館日・時間拡大事業

.....134万6千円  
夏休み期間(7月21日～8月31日)の中央児童館の開館日等を拡大します。

#### 庁舎防災機能等整備事業

.....3億8026万円  
災害応急対策業務に要する電力等を確保するための設備を整備します。  
また、議場に、車椅子に対応可能な傍聴席およびスロープを設置します。

市制施行70周年記念関連事業

平成29年3月1日に市制施行70周年を迎えます。この慶事を祝い、新たな出発点とするため、平成28年4月1日から平成29年12月31日までの2力年をかけた市制施行70周年記念事業を行います。

観光交流サミット事業

平成28年「尾張津島天王祭の車楽舟行事」のユネスコ無形文化遺産の登録、平成29年市制施行70周年となる記念すべき年を絶好の機会と捉え、市観光協会、(公社)日本観光振興協会、(一社)愛知県観光協会などと協力し、観光交流サミットを津島市で開催します。

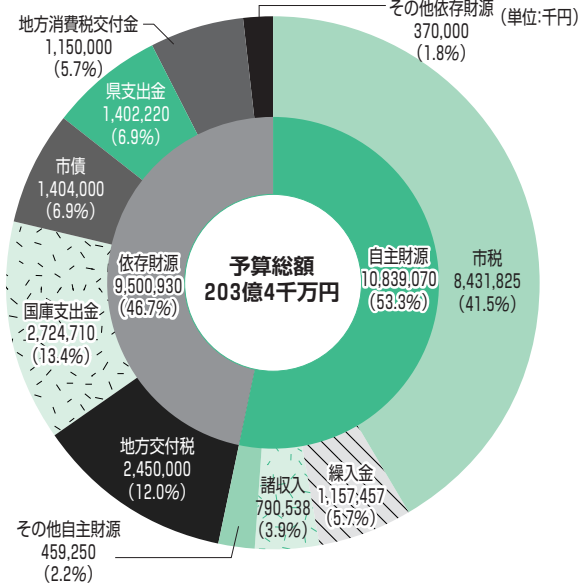
歴史・文化ゾーン整備事業

国の社会資本整備総合交付金を活用し、歴史・文化ゾーンの地域特性を活かした街づくり整備のため、来訪者が津島のまちなかを楽しみながら回遊できるように小路整備を行います。

特別会計

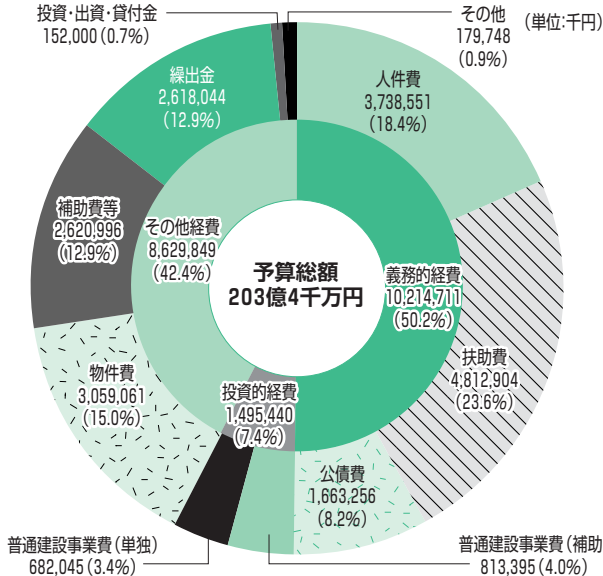
151億2389万2千円  
(6特別会計の総額で、前年度比1.7%、2億5417万3千円の増額)  
国民健康保険特別会計では、マイナンバーシステム改修の終了などにより、約700万円(0.1%)の減となつています。  
介護保険特別会計では、介護給付費負担金の増

一般会計歳入内訳



※市民1人当たりの税負担額  
13万1733円(平成28年3月1日現在の人口6万4007人より算出)

一般会計歳出内訳



※市民1人当たりの歳出  
31万7778円(平成28年3月1日現在の人口6万4007人より算出)

主な事業一覧

子育て応援券事業	887万6千円
地域子育て支援センター事業	637万5千円
夏休み開館日・時間拡大事業【新規】	134万6千円
小児慢性特定疾病医療費支給事業	286万7千円
庁舎防災機能等整備事業【新規】	3億8,026万円
耐震性貯水槽整備設計事業【新規】	1,610万4千円
家具転倒防止金具取付事業	144万8千円
シティプロモーション推進事業	174万2千円
市制施行70周年記念関連事業【新規】	233万1千円
つしままちづくり提案事業	338万2千円
観光交流サミット事業【新規】	200万円
歴史・文化ゾーン整備事業	1億730万1千円
ポケットパーク事業【新規】	236万円
国際交流事業(韓国の小学生との交流)【新規】	65万円
ユネスコ無形文化遺産登録関連事業	163万2千円
社会資本整備総合交付金事業	6億2,243万5千円
精神障がい者医療扶助事業	4,519万1千円
公共施設等総合管理計画策定事業【新規】	907万円
常設リサイクルステーション事業【新規】	518万4千円
公園設計事業【新規】	450万円
公園施設長寿命化計画策定事業	1,324万9千円
空家対策計画策定事業【新規】	432万円
喜楽住宅跡地測量等及び利活用検討事業【新規】	870万円

どにより、約1億1000万円(2.4%)の増となつています。  
流域関連公共下水道事業特別会計では、下水道渠等工事の増などにより、約1億3500万円(11.1%)の増となつています。

企業会計

141億9852万9千円  
(3企業会計の総額で前年度比1.2%、1億7312万8千円の減額)

事業経営に当たっては、企業性を最大限発揮するとともにサービスの充実に配慮し、公共の福祉の増進や地域づくりに積極的な役割を果たしていきます。

また、経営の健全化と活性化を推進するため、経費の節減等一層の経営努力に取り組み、経営基盤の強化を図っていきます。